



## 2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東  
コード番号 6778 URL <https://www.artiza.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 床次 直之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 永井 英樹 TEL 042-529-3494  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年7月期第3四半期の連結業績（2025年8月1日～2026年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	1,862	△12.0	191	△22.8	328	△5.3	277	44.8
2025年7月期第3四半期	2,116	△4.2	247	217.8	347	333.1	191	—

(注) 包括利益 2026年7月期第3四半期 442百万円 (—%) 2025年7月期第3四半期 △133百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	31.61	—
2025年7月期第3四半期	21.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年7月期第3四半期	7,912	6,826	86.3	777.60
2025年7月期	8,399	6,560	78.1	747.25

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 6,826百万円 2025年7月期 6,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,575	△3.9	155	33.8	308	24.7	157	18.6	17.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年7月期3Q	9,562,000株	2025年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2026年7月期3Q	782,470株	2025年7月期	782,470株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年7月期3Q	8,779,530株	2025年7月期3Q	9,033,426株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

国内環境は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要が景気を下支えし、日本経済は緩やかな回復基調にあります。しかし、継続するコストプッシュ型のインフレや個人消費の伸び悩みによる影響が残ることに加え、不安定な中東情勢やウクライナ情勢の長期化といった地政学リスクが依然として不確実性を高めています。また、米国新政権による関税政策や保護主義的な経済安全保障政策の具体化は、サプライチェーンの再編や輸入コストの上昇を通じてグローバルな景気減速およびインフレ圧力をもたらす懸念（関税ショック）として、引き続き注視が必要な状況にあります。

移動体通信分野では、国内の5G契約数が1億件を突破し、通信インフラとしての普及が定着しました。一方で、コンシューマー向け市場においては、AR/VRや高精細映像伝送といった初期の期待サービスが限定的な利用に留まっており、収益向上に直結する決定的な「キラーサービス」の創出が依然として課題となっています。

このような中、業界の焦点は5Gの高度化（5G-Advanced）や次世代の6G、およびAIとの融合へと移行しています。特に、通信網とAIを統合し、ネットワークの最適化や電力効率の向上、さらには新たな収益機会の創出を目指す「AI-RAN（AI-Radio Access Network）」の取り組みは、アライアンス設立を経て実証から実装・商用化のフェーズへと進展しており、大きな注目を集めています。

今後は、自動車を始めとする様々な分野での5G活用に向けた研究開発や、衛星通信を活用した非地上系ネットワーク（Non-Terrestrial Network）の商用サービスの本格化に伴い、山間部や災害時、さらにはモビリティ分野での通信確保に向けた活用への期待が高まっています。通信事業者においては、固定網・移動網の融合（FMC）による高品質なネットワークの実現に加え、量子コンピューティングや生成AIのインフラ実装など、技術革新を背景とした戦略的投資が進められ、ネットワーク自体をコストセンターから新たな収益源へと転換させる可能性を秘めています。

一方で、高度化するサイバー攻撃に対する情報セキュリティ強化や、環境保護への貢献も求められています。また、モバイルネットワークの最適化、ネットワークによる消費電力の削減などは避けて通れない社会的要請となっており、これらに対応する技術開発の展開が注目されています。通信各社の設備投資計画については、5Gの面展開が一巡したことや、通信事業者間の加入者獲得競争等によるサービスの低価格傾向は継続しており、今後も各社の投資対効果の厳選を背景に、設備投資額の減少傾向は続くことが予想されますが、6Gを見据えた研究開発や、AI基盤・NTNといった成長領域への「選別的な戦略投資」は継続しており、国内外の政治経済情勢を注視しつつ、将来の競争力維持に向けた投資意欲は底堅く推移するものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、主に以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発、販売、保守並びにテストサービスの受託
- (ii) 4Gに対応する製品の保守及びテストサービスの受託
- (iii) 欧州、北米、韓国、インド等の海外市場における5G対応製品の市場開拓及び販売
- (iv) 次世代ネットワーク及びネットワーク・セキュリティ等に対応した製品開発及び商材開拓並びに販売
- (v) ローカル5G等の通信分野における新事業に向けたマーケティング活動等

上記の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

#### (物販セグメント)

物販セグメントにおきましては、既存顧客の5G向け研究開発投資の投資意欲の回復が進まず、主力製品であるDuoSIM-5Gの販売が減少し、前年同期を下回りました。その結果、売上高は920,836千円（前年同期比21.1%減）となり、セグメント損益は92,190千円の損失（前年同期は42,728千円の損失）となり、損失が拡大しました。

#### (サービスセグメント)

サービスセグメントにおきましては、DuoSim-5Gのレンタルや保守サービスに伴う売上高が増加しましたが、評価受託業務の受注が少なかったことなどにより、売上高は941,322千円（前年同期比0.8%減）となり、セグメント損益は283,585千円（前年同期比2.4%減）と減収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高1,862,159千円（前年同期比12.0%減）、営業利益191,395千円（前年同期比22.8%減）、経常利益328,692千円（前年同期比5.3%減）となりました。また、税効果会計の適用に伴う法人税等調整額27,862千円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は277,532千円（前年同期比44.8%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,354,510千円であり、前連結会計年度末に比べ581,195千円減少いたしました。現金及び預金が635,308千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は4,558,396千円であり、前連結会計年度末に比べ94,358千円増

加いたしました。有形固定資産が31,748千円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が55,010千円減少した一方で、投資有価証券が194,441千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は945,137千円であり、前連結会計年度末に比べ654,090千円減少いたしました。短期借入金が500,000千円、買掛金が99,128千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は140,796千円であり、前連結会計年度末に比べ99,210千円減少いたしました。社債が45,000千円、長期借入金が45,900千円減少したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,826,972千円であり、前連結会計年度末に比べ266,464千円増加いたしました。利益剰余金が101,941千円、その他有価証券評価差額金が163,934千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年9月11日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、サービス売上は新規契約の獲得により堅調に推移いたしました。一方、物販につきましては、国内市場における既存顧客の投資意欲低下に伴い5G向け研究開発投資の需要回復が想定を下回ったほか、海外向け物販においても受注に至らず、当初予想を下回る見込みとなりました。第4四半期におきましても、国内顧客の投資動向が引き続き不透明であることから、通期売上高は当初予想を下回る見通しであります。

利益面におきましても、販売管理費等の削減を進めたものの、売上高減少の影響を補うには至らず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

これらを踏まえ、通期連結業績予想数値を修正しております。また、当期の配当予想につきましても修正を行っております。これらの詳細につきましては、本日（2026年6月12日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,726,175	2,090,866
売掛金及び契約資産	811,952	853,217
商品及び製品	168,933	223,880
仕掛品	1,848	287
原材料及び貯蔵品	129,012	48,978
未収還付法人税等	13,704	3,432
その他	100,964	150,734
貸倒引当金	△16,886	△16,886
流動資産合計	3,935,706	3,354,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	492,967	468,718
機械及び装置（純額）	18,245	16,400
工具、器具及び備品（純額）	62,473	56,819
土地	32,557	32,557
有形固定資産合計	606,243	574,495
無形固定資産		
その他	1,161	839
無形固定資産合計	1,161	839
投資その他の資産		
投資有価証券	3,555,826	3,750,268
退職給付に係る資産	26,872	21,215
その他	273,934	211,577
投資その他の資産合計	3,856,633	3,983,061
固定資産合計	4,464,038	4,558,396
資産合計	8,399,744	7,912,907

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,442	37,313
短期借入金	1,000,000	500,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	75,118	61,200
未払法人税等	22,852	13,122
賞与引当金	81,319	119,432
その他	223,496	154,068
流動負債合計	1,599,228	945,137
固定負債		
社債	105,000	60,000
長期借入金	54,000	8,100
役員退職慰労引当金	2,700	3,900
退職給付に係る負債	23,538	19,956
資産除去債務	29,279	29,279
その他	25,490	19,561
固定負債合計	240,007	140,796
負債合計	1,839,235	1,085,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	3,128,149	3,128,149
利益剰余金	2,690,028	2,791,970
自己株式	△433,598	△433,598
株主資本合計	6,743,929	6,845,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△182,833	△18,898
為替換算調整勘定	△587	—
その他の包括利益累計額合計	△183,421	△18,898
純資産合計	6,560,508	6,826,972
負債純資産合計	8,399,744	7,912,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
売上高	2,116,101	1,862,159
売上原価	752,603	681,758
売上総利益	1,363,498	1,180,400
販売費及び一般管理費	1,115,596	989,005
営業利益	247,901	191,395
営業外収益		
受取利息及び配当金	113,702	140,417
その他	9,698	12,389
営業外収益合計	123,401	152,806
営業外費用		
支払利息	8,640	9,227
投資事業組合運用損	5,124	5,784
その他	10,360	497
営業外費用合計	24,124	15,509
経常利益	347,178	328,692
特別利益		
関係会社清算益	—	3,158
特別利益合計	—	3,158
税金等調整前四半期純利益	347,178	331,850
法人税、住民税及び事業税	51,579	26,456
法人税等調整額	103,982	27,862
法人税等合計	155,561	54,318
四半期純利益	191,616	277,532
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,616	277,532

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	191,616	277,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△325,188	163,934
為替換算調整勘定	12	587
その他の包括利益合計	△325,176	164,522
四半期包括利益	△133,559	442,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133,559	442,054
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)1
	物販	サービス	
売上高			
一時点で移転される財又は サービス	1,167,514	196,858	1,364,372
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	—	512,492	512,492
顧客との契約から生じる収益	1,167,514	709,350	1,876,864
その他の収益(注)2	—	239,236	239,236
外部顧客への売上高	1,167,514	948,587	2,116,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,167,514	948,587	2,116,101
セグメント利益又は損失(△)	△42,728	290,629	247,901

(注)1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)等に基づく収入等です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)1
	物販	サービス	
売上高			
一時点で移転される財又は サービス	920,836	92,620	1,013,456
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	—	527,971	527,971
顧客との契約から生じる収益	920,836	620,591	1,541,428
その他の収益(注)2	—	320,730	320,730
外部顧客への売上高	920,836	941,322	1,862,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	920,836	941,322	1,862,159
セグメント利益又は損失(△)	△92,190	283,585	191,395

(注)1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)等に基づく収入等です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	89,085千円	39,465千円